

モバイル GM 音源モジュール

PianoEngine

Mobile GM Sound Module PE128

取扱説明書



TAHERNG

はじめに

この度は TAHORNG Piano Engine PE128 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
Piano Engine PE128 はコンパクトなボディに高品位な MIDI 音源を搭載したモバイルタイプの MIDI(GM) 音源モジュールです。GM 対応の 128 音色を搭載した 16 パートマルチ音源として使用できるだけで無く、音源の設定を本体上にある A、B、C のボタンにそれぞれ保存することが可能で、これによりボタンで音色を切り換えて使用するライブ用音源としても活用できます。さらに 100 種類のリズムパターンを奏でるリズムマシン機能も搭載。充電式のバッテリーを内蔵しているため、屋外や移動中でも演奏が可能です。さらに MIDI IN OUT 端子に加え、USB HOST 端子も装備しており、USB-MIDI キーボードと接続するだけでモバイルキーボード音源としても利用できます。

特徴

- GM 対応 128 音色を搭載
- 100 種類のドラムパターンを内蔵
- バックライト付 LCD ディスプレイ
- 大型データノブを搭載
- ステレオミニ (3.5mm) オーディオ入力端子 (Hi-Z) を装備
- Drum、Sound など様々なファンクションボタンを装備
- 2500mAh のバッテリーを内蔵
- USB-MIDI クライアント機器を直接接続できる USB HOST 端子を装備
- バッテリー充電用の Micro USB 端子を装備
- 3.5mm MIDI IN/ OUT 端子を装備 (専用ケーブルで 5Pin DIN に変換可能)
- ステレオミニ (3.5mm) ヘッドホン端子を装備

ご使用上の注意

- ・ 内蔵バッテリーの残量が 2%以下になると自動的に電源がオフとなります。
- ・ ディスプレイ右上の電池残量マークを確認し、速やかに充電を行って下さい。
- ・ バッテリーを完全に放電してしまいますと、バッテリーの寿命を短くする恐れがありますので、放電前に充電を行うようにして下さい。
- ・ USB-HOST 端子には 500mA 以上の消費電力を要する機器を接続しないでください。
- ・ 長期間ご使用にならないとき及び雷の発生しているときは、充電用の USB ケーブルを抜いた状態で保管してください。
- ・ バッテリーや本体を分解したり無理な力を加えたりしないでください。異常が発生した場合は直ちにご使用を中止してください。
- ・ 高温多湿の場所でご使用にならないでください。
- ・ バッテリーが液漏れした場合は、直ちに使用を中止してください。

各部の名称と機能



① LCD ディスプレイ

LED バックライト付の LCD ディスプレイです。電池残量をはじめ Piano Engine PE128 の様々な設定を表示します。

② USB LED

USB-HOST 端子に MIDI 機器を接続すると赤く点灯し、接続した MIDI 機器から MIDI 信号を受けたときに点滅します。

③ MIDI LED

MIDI IN 端子に接続した MIDI 機器から MIDI 信号を受けたときに点滅します。

④ DRUM ボタン

ディスプレイの表示を DRUM モードに切り換えるボタンです。このボタンを押してから⑬のデータエンコーダーを上から押すとリズムパターンが再生されます。リズムパターンを切り換える際は⑬のデータエンコーダーを左右に回して切り換えます。

⑤～⑦ A、B、C ボタン

音色などのセッティングを切り換えるボタンです。A～C の 3 種類の設定をボタン毎に割り当てられます。このボタンで切り換えられる設定は、各チャンネルの Sound、Volume、Reverb、Chorus、Modulation、Sustain、Pan の 7 つのパラメーターになります。

⑨ CHANNEL ボタン

音色などの設定を変更するチャンネルを切り換えるためのボタンです。このボタンを押すと LCD ディスプレイの矢印表記が Channel の位置に移動し、⑬のデータエンコーダーを左右に回すことでチャンネルを変更できます。

⑪ SET ボタン

LCD ディスプレイを Reverb/Chorus/Modula または Sustain/Pan 画面に切り換えるボタンです。

⑬ SHIFT ボタン

LCD ディスプレイの矢印位置を移動させるボタンです。DRUM ボタンを押しているときは、DrumNum/Tempo/Volume を、SOUND ボタンを押しているときは、Sound/Channel/Volume を、SET ボタンを押しているときは Reverb/Chorus/Modula/Sustain/Pan の順で矢印位置を移動します。

⑧ SOUND ボタン

音色を切り換えるためのボタンです。このボタンを押すと LCD ディスプレイの矢印表記が Sound の位置に移動し、⑬のデータエンコーダーを左右に回すことで音色番号を変更できます。

⑩ VOLUME ボタン

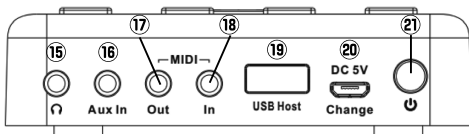
各チャンネルの音量を調整するためのボタンです。このボタンを押すと LCD ディスプレイの矢印表記が Volume の位置に移動し、⑬のデータエンコーダーを左右に回すことで表示されているチャンネルの音量を変更できます。

⑫ SAVE ボタン

A、B、C の各ボタンに設定した音色や音量などの設定を保存するボタンです。

⑭ データエンコーダー

各種数値の変更およびリズムパターンのオン / オフを行うエンコーダーです。左右に回すと数値変更、上から押すとスタート / ストップのスイッチとして機能します。



⑮ ヘッドフォン / LINE OUT 端子

3.5mm のヘッドフォン端子です。ミニステレオタイプのヘッドフォンを接続してお使いください。また、ミキサーなどに接続する際もこの端子を使用してください。

⑰ MIDI OUT 端子

付属の MIDI 変換ケーブルを接続すると MIDI OUT 端子として使用できます。USB-HOST 端子に接続した機器から MIDI 信号が来た場合、Piano Engine PE128 の音源が鳴ると同時にこの端子から MIDI 信号が出力されます。⑱ の MIDI IN から受けた MIDI 信号は出力されません。

⑲ USB HOST 端子

USB-MIDI キーボードや MIDI 音源など、USB-MIDI クライアント機器を接続することができる端子です。USB-MIDI キーボードを USB ケーブルで接続すれば、Piano Engine PE128 のバッテリーから USB-MIDI キーボードにも電源が供給され、音源付モバイルキーボードとして使用できます。但し、この端子に接続する USB 機器の消費電力は 500mA 以下になるようにして下さい。

⑮ AUX IN 端子

3.5mm の AUX（外部オーディオ）入力端子です。ポータブルオーディオプレーヤーなどを接続すると、Piano Engine PE128 の音とミックスして⑮のヘッドフォン端子に出力されます。音量調節は接続したプレーヤー側で行って下さい。

⑱ MIDI IN 端子

付属の MIDI 変換ケーブルを接続すると MIDI IN 端子として使用できます。MIDI キーボードなどの MIDI OUT 端子を接続すると、接続した MIDI キーボードで Piano Engine PE128 の音源を演奏することができます。また、この端子に入力した MIDI 信号は USB-HOST 端子に接続した機器にも送られます。

⑳ DC 5V（充電用 USB）端子

Piano Engine PE128 のバッテリーを充電するための USB 端子です。付属の USB ケーブルを使用し、USB 電源アダプター（別売）に接続して充電を行って下さい。

㉑ 電源ボタン

Piano Engine PE128 本体の電源ボタンです。3 秒間長押しすると電源が投入されます。電源を OFF にする時も同様に 3 秒間長押しして下さい。

電源の投入と充電について

ご使用の際は㉑の電源ボタンを 3 秒間長押しして下さい。ディスプレイが音色選択の画面に切り替わればご使用可能です。また、電源をオフにする場合も㉑の電源ボタンを 3 秒間長押しして下さい。なお、電源をオンオフする場合は、Piano Engine PE128 と接続しているアンプなどのボリュームを 0 にして行って下さい。

また、ディスプレイ右上にある電池残量マークが少なくなった場合は、速やかに付属の USB ケーブルを㉒に接続し、USB 電源アダプター（別売）と接続して充電を行って下さい。正常に充電が行われている場合は電池残量マーク左側に ⚡ マークが表示されます。



電池残量有り



電池残量無し



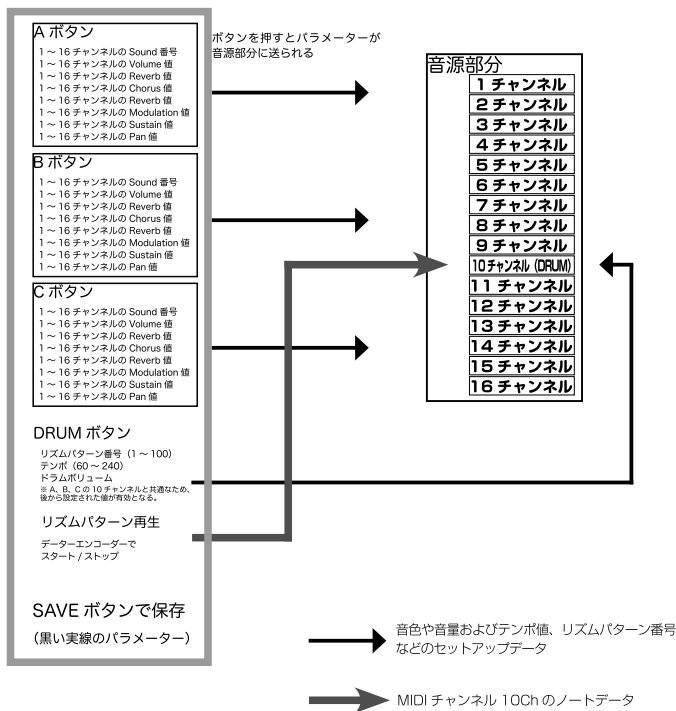
付属の USB ケーブルを接続



充電中

Piano Engine PE128 のシステム概要

Piano Engine PE128 は GM (General MIDI) 規格対応の 16 パートマルチ音源を搭載したバッテリー駆動のモバイル音源です。16 パートの音源は MIDI チャンネル 1 チャンネル～ 16 チャンネルに設定されており、10 チャンネルはドラムパートに固定されています。各チャンネルの音色を変更する場合は、SOUND ボタンを押してから CHANNEL ボタンを押してデータエンコーダーを回し、設定を変更したいチャンネルに設定してからもう一度 SOUND ボタンを押し、データエンコーダーで音色番号を変更します。この様に Piano Engine PE128 ではチャンネル毎の各種設定を本体パネル上で設定出来るのですが、この設定を A、B、C の 3 セット記憶でき、本体パネル上の A、B、C の各ボタンで瞬時に呼び出せるようになっています。また、A、B、C に設定した各パラメーターは SAVE ボタンを押すことで本体に記憶され、電源を切っても保存されます。



音色の変更

音色の変更は下記の手順となります。

SOUND ボタンを押す（ボタンが青く光ります）。



A、B、C いずれかのボタンが青く光りディスプレイが下記の様になります。



➡ が Sound の位置にあることを確認したら④のデータエンコーダーを回して音色番号を変更します。

右記の場合は 1 チャンネルの音色がエレクトリックピアノの音に変わります。USB-HOST 端子に USB-MIDI キーボードを接続して演奏する場合、USB-MIDI キーボードの送信 MIDI チャンネルが 1 チャンネルであれば、上記の Channel1 の Sound を変更するだけで問題ありません。キーボード側が複数の MIDI チャンネルを送信する場合や 1 チャンネル以外の MIDI チャンネルで送信している場合は、該当するチャンネルの音色を変更して下さい。

例えば、MIDI チャンネル 2 チャンネルの音色を変更する場合は、以下の手順になります。

<u>A</u>	
➡ Sound	: 1
Channel	: 1
Volume	: 80



<u>A</u>	
➡ Sound	: 5
Channel	: 1
Volume	: 80

CHANNEL ボタンを押す（ボタンが青く光ります）。



➡ が CHANNEL の位置にあることを確認したら④のデータエンコーダーを回して MIDI チャンネルを変更します。

もう一度 SOUND ボタンを押して（ボタンが青く光ります）から ➡ が Sound の位置にあることを確認し、データエンコーダーを回して音色番号を変更します。右記の場合は 2 チャンネルの音色がフィンガーベースの音に変更されています。この様に変更したいチャンネルを指定してから音色を変更します。なお、USB または MIDI IN 端子から MIDI 信号を受けると、受けた信号のチャンネルに LCD ディスプレイの表示が自動的に変わります。

音色番号は 1 ～ 128 までの 128 種類あります。
音色番号と音色の関係は音色リストを参照してください。

<u>A</u>	
Sound	: 1
➡ Channel	: 2
Volume	: 80



<u>A</u>	
➡ Sound	: 34
Channel	: 2
Volume	: 80

音量の変更

音量の変更もチャンネル毎に行います。チャンネルの指定方法は音色の変更を参照してください。下記は音量の変更手順になります。

VOLUME ボタンを押す（ボタンが青く光ります）。



A、B、C いずれかのボタンが青く光りディスプレイが下記の様になります。



→ が Volume の位置にあることを確認したら④のデータエンコーダーを回して音量を変更します。

音量は 0 ～ 100 までの数値で、数値が大きくなるほど音量が大きくなり、0 では音が出ません。

<u>A</u>	
Sound	: 1
Channel	: 1
→ Volume	: 100

リバーブ量の変更

リバーブ量の変更もチャンネル毎に行います。チャンネルの指定方法は音色の変更を参照してください。下記はリバーブ量の変更手順になります。

SET ボタンを押す（ボタンが青く光ります）。



A、B、C いずれかのボタンが青く光りディスプレイが下記の様になります。



SHIFT ボタンを何度か押して → が Reverb の位置にあることを確認したら④のデータエンコーダーを回してリバーブ量を変更します。

リバーブ量は 0 ～ 127 までの数値で、数値が大きくなるほどリバーブが深くなり、0 ではリバーブが OFF になります。

<u>A</u>	
→ Reverb	: 127
Chorus	: 0
Modula	: 0

コーラス量の変更

コーラス量の変更もチャンネル毎に行います。チャンネルの指定方法は音色の変更を参照してください。下記はコーラス量の変更手順になります。

SET ボタンを押す（ボタンが青く光ります）。



A、B、C いずれかのボタンが青く光りディスプレイが下記の様になります。



SHIFT ボタンを何度か押して ➡ が Chorus の位置にあることを確認したら④のデータエンコーダーを回してコーラス量を変更します。

コーラス量は 0 ～ 127 までの数値で、数値が大きくなるほどコーラスの量が多くなり、0 ではコーラスが OFF になります。

<u>A</u>	
Reverb	: 0
➡ Chorus	: 64
Modula	: 0

モジュレーション量の変更

モジュレーション量の変更もチャンネル毎に行います。チャンネルの指定方法は音色の変更を参照してください。下記はモジュレーション量の変更手順になります。

SET ボタンを押す（ボタンが青く光ります）。



A、B、C いずれかのボタンが青く光りディスプレイが下記の様になります。



SHIFT ボタンを何度か押して ➡ が Modula の位置にあることを確認したら④のデータエンコーダーを回してモジュレーション量を変更します。

コーラス量は 0 ～ 127 までの数値で、数値が大きくなるほどモジュレーションが深くなり、0 ではモジュレーションが OFF になります。

<u>A</u>	
Reverb	: 0
Chorus	: 0
➡ Modula	: 80

サスティーンパラメーターの変更

サスティーンパラメーターとは、鍵盤を離してから音が消えるまでの長さのパラメーターです。サスティーンパラメーターの変更もチャンネル毎に行います。チャンネルの指定方法は音色の変更を参照してください。下記はサスティーンパラメーターの変更手順になります。

SET ボタンを押す（ボタンが青く光ります）。



A、B、C いずれかのボタンが青く光りディスプレイが下記の様になります。



SHIFT ボタンを何度か押して → が Sustain の位置にあることを確認したら④のデータエンコーダーを回してサスティーンパラメーターを変更します。

サスティーンパラメーターは 0 ～ 127 までの数値で、数値が大きくなるほど鍵盤を離してから音が消えるまでの時間が長くなります。0 では元々の音色に設定されているサスティーン値になります。

<u>A</u>	
→ Sustain	: 20
Pan	: C

パンポット（定位）の変更

パンポットの変更もチャンネル毎に行います。チャンネルの指定方法は音色の変更を参照してください。下記はパンポットの変更手順になります。

SET ボタンを押す（ボタンが青く光ります）。



A、B、C いずれかのボタンが青く光りディスプレイが下記の様になります。



SHIFT ボタンを何度か押して → が Pan の位置にあることを確認したら④のデータエンコーダーを回してパンポットを変更します。

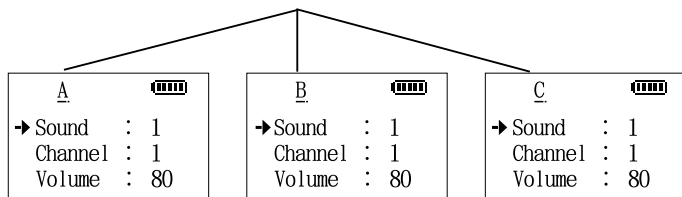
パンポットは L63 ～ C ～ R63 までの数値で、L の数値が大きくなれば左に、R の数値が大きくなれば右に、C ではセンターに定位が移動します。

<u>A</u>	
Sustain	: 20
→ Pan	: L63

A、B、C ボタンについて

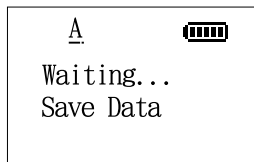
Piano Engine PE128 では、16 パート（チャンネル）分の音色、音量、リバーブ量、コーラス量、モジュレーション量、サステーンパラメーター、パンポット（定位）の設定を、A、B、C の3つのボタンに別々に設定することができます。あらかじめ設定を保存しておけば、A、B、C ボタンで瞬時に設定を切り替えることができますので、ライブ演奏などに便利です。設定の仕方は前項までの各音色、音量、リバーブ量、コーラス量、モジュレーション量、サステーンパラメーター、パンポット（定位）変更の手順で、A、B、C いずれかのボタンを押してから設定を変更するだけです。なお、設定した値は②の SAVE ボタンを押して保存すると Piano Engine PE128 の電源を切っても保持されます。※ SAVE を行わないと保存されません。

A、B、C のボタンを切り換えると LCD ディスプレイの上部のアルファベットが変わります。



SAVE ボタンについて

Piano Engine PE128 では、A、B、C の3つのボタンに別々に設定した 16 パート（チャンネル）分の音色、音量、リバーブ量、コーラス量、モジュレーション量、サステーンパラメーター、パンポット（定位）の値と、DRUM ボタンで設定可能なリズムパターンナンバー、テンポ、ドラムボリュームの各値を②の SAVE ボタンを押して保存することができます。SAVE ボタンを押すと下図のようになり、Piano Engine PE128 の電源を切っても保持されます。※ SAVE を行わないと保存されません。



設定のリセット

保存した音色設定（音量やリバーブ量など）を初期化したい場合は、一度 Piano Engine PE128 の電源を切ってから、①の SET ボタンを押しながら②の電源ボタンを押して電源を入れます。画面に次ページ右上の様な「Restore the Factory Please wait!」の表示が出るまで SET ボタンを押し続け、その後この表示が消えればリセットは完了です。

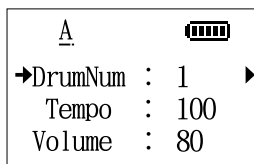


⑪を押しながら電源を入れる。

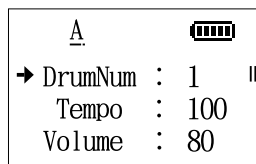
Restore the
Factory
Please wait!

DRUM ボタンについて

Piano Engine PE128 にはリズムパターンを再生する機能が搭載されています。DRUM ボタンを押すと、LCD ディスプレイが下図の様な表示になり、⑬のデータエンコーダーを上から押すとリズムパターンが再生されます。リズムパターンを止めたいときはもう一度データエンコーダーを上から押します。



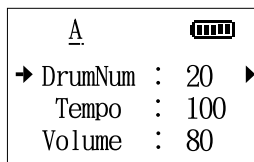
DRUM ボタンを押すと上記の表示となり、▶マークが表示されます。



リズムパターン再生中は上記の表示となり、||マークが表示されます。

リズムパターンの変更

DRUM ボタンを押して▶が DrumNum の位置にあることを確認したら、データエンコーダーを回してリズムパターンの番号を変更します。リズムパターン番号は 1 ～ 100 までの 100 パターンあります。番号とパターンの関係はリズムパターン表を参照してください。



テンポの変更

DRUM ボタンを押してから SHIFT ボタンを何度か押し、➡が Tempo の位置にあることを確認したらデータエンコーダーを回してテンポを変更します。テンポの値は 60 ～ 240 まで 1 刻みで設定出来ます。

<u>A</u>	
DrumNum : 1	▶
➡ Tempo : 120	
Volume : 80	

リズム音量の変更

DRUM ボタンを押してから VOLUME ボタンを押し、➡が Volume の位置にあることを確認したらデータエンコーダーを回してリズム音量を変更します。リズム音量は 0 ～ 100 までの数値で、数値が大きくなるほど音量が大きくなり、0 では音が出ません。なお、SOUND の 10 チャンネルで設定できる VOLUME を変更すると設定時に SOUND 側の値が反映されますが、設定中以外の A、B、C ボタンまたは DRUM ボタンを押すとリズム音量で設定した値に戻ります。

<u>A</u>	
DrumNum : 1	▶
Tempo : 120	
➡ Volume : 96	

音色表

1	Piano 1	65	Soprano Sax
2	Piano 2	66	Alto Sax
3	Piano 3	67	Tenor Sax
4	Honky Tonk	68	Baritone Sax
5	E.Piano 1	69	Oboe
6	E.Piano 2	70	English Horn
7	Harpichord	71	Bossoon
8	Clavinet GM	72	Clarinet
9	Celesta	73	Piccolo
10	Glockenspiel	74	Flute
11	Music Box	75	Recorder
12	Vibraphone	76	Pan Flute
13	Marimba	77	Blown Bottle
14	Xylophone	78	Shakuhachi
15	Tubular Bells	79	Whistle
16	Dulcimer	80	Ocarina
17	Organ 1	81	Lead 1 (square)
18	Organ 2	82	Lead 2 (sawtooth)
19	Organ 3	83	Lead 3 (calliope)
20	Church Organ	84	Lead 4 (chiff)
21	Reed Organ	85	Lead 5 (charang)
22	Accordion	86	Lead 6 (voice)
23	Harmonica	87	Lead 7 (fifths)
24	Bandoneon	88	Lead 8 (bass+lead)
25	Nylon Guitar	89	Pad 1 (new age)
26	Steel Guitar	90	Pad 2 (warm)
27	Jazz Guitar	91	Pad 3 (polysynth)
28	Clean Guitar	92	Pad 4 (choir)
29	Guitar Mutes	93	Pad 5 (bowed)
30	Overdrive Guitar	94	Pad 6 (metallic)
31	Distortion Guitar	95	Pad 7 (halo)
32	Guitar Harmonics	96	Pad 8 (sweep)
33	Acoustic Bass	97	Fx 1 (rain)
34	Fingered Bass	98	Fx 2 (soundtrack)
35	Picked Bass	99	Fx 3 (crystal)
36	Fretless Bass	100	Fx 4 (atmosphere)
37	Slap Bass 1	101	Fx 5 (brightness)
38	Slap Bass 2	102	Fx 6 (gobline)
39	Synth Bass 1	103	Fx 7 (echoes)
40	Synth Bass 2	104	Fx 8 (sci-fi)
41	Violin	105	Sitar
42	Viola	106	Banjo
43	Cello	107	Shamisen
44	Contrabass	108	Koto
45	Tremolo Strings	109	Kalimba
46	Pizzicato	110	Bag Pipe
47	Harp	111	Fiddle
48	Timpani	112	Shanai
49	Strings	113	Tinkle Bell
50	Slow Strings	114	Agogo
51	Synth Strings 1	115	Steel Drums
52	Synth Strings 2	116	Woodblock
53	Choir Aahs	117	Taiko
54	Voice Oohs	118	Melodic Tom
55	Synth Vox	119	Synth Drum
56	Orchestra Hit	120	Reverse Cymbal
57	Trumpet	121	Guitar Fret Noise
58	Trombone	122	Breath Noise
59	Tuba	123	Seashore
60	Mute Trumpet	124	bird Tweet
61	French Horns	125	Telephone Ring
62	Brass	126	Helicopter
63	Synth Brass 1	127	Applause
64	Synth Brass 2	128	Gunshot

ドラムキット表

1	Standard
9	ROOM
17	POWER
25	Electric
26	Analog
33	JAZZ
41	Brush
49	Orchestra
57	Door & Scratch ※ 2音のみ
128	Compatible KIT

リズムパターン表

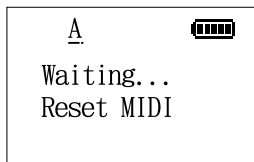
1	Ballad 01	51	Pop 03
2	Ballad 02	52	Pop 04
3	Ballad 03	53	Pop 05
4	Ballad 04	54	Pop 06
5	Ballad 05	55	Pop 07
6	Ballad 06	56	Pop 08
7	Bossa 01	57	Pop 09
8	Bossa 02	58	Pop 10
9	Bossa 03	59	Pop 11
10	Bossa 04	60	Pop 12
11	Bossa 05	61	Reggae 01
12	ChaCha	62	Reggae 02
13	Country 01	63	Reggae 03
14	Country 02	64	Rock 01
15	Country 03	65	Rock 02
16	Country 04	66	Rock 03
17	Country 05	67	Rock 04
18	Dance 01	68	Rock 05
19	Dance 02	69	Rock 06
20	Disco 01	70	Rock 07
21	Disco 02	71	Rock 08
22	Disco 03	72	Rock 09
23	Disco 04	73	Rock 10
24	Disco 05	74	Rock 11
25	Disco 06	75	Rock 12
26	Funk 01	76	Rock 13
27	Funk 02	77	Samba 01
28	Funk 03	78	Samba 02
29	Groove 01	79	Samba 03
30	Groove 02	80	Samba 04
31	Groove 03	81	Samba 05
32	Groove 04	82	Samba 06
33	Groove 05	83	Soul 01
34	Groove 06	84	Soul 02
35	Groove 07	85	Soul 03
36	Groove 08	86	Soul 04
37	Jazz 01	87	Soul 05
38	Jazz 02	88	Soul 06
39	Jazz 03	89	Soul 07
40	Latin 01	90	Soul 08
41	Latin 02	91	Swing 01
42	Latin 03	92	Swing 02
43	Latin 04	93	Swing 03
44	Latin 05	94	Swing 04
45	Latin 06	95	Swing 05
46	Latin 07	96	Swing 06
47	Latin 08	97	Swing 07
48	Latin 09	98	Swing 08
49	Pop 01	99	Waltz 01
50	Pop 02	100	Waltz 02

MIDI パニックについて

Piano Engine PE128 を使用中に、音が鳴りっぱなしになったり、モジュレーションがかかったまま戻らなくなってしまった場合は、⑪の SET ボタンを 3 秒間長押しすると、ディスプレイに「Reset MIDI」と表示されてリセットを行うことができます。



⑪を 3 秒間長押しする。



仕様

音源方式	GM 対応 (128 音色) PCM 音源
ボタン	DRUM,A,B,C,SOUND,CANNEL, VOLUME,SET,SAVE,SHIFT
ノブ	ダイヤル式エンコーダー
ディスプレイ	LCD ディスプレイ
端子	ヘッドフォン / LINE OUT, MIDI IN, MIDI OUT, AUX IN, USB-HOST, 5V DC (マイクロ USB)
内蔵バッテリー	2500mA
寸法	140 × 95 × 28mm (エンコーダー含む)
重量	307 g
付属品	USB ケーブル、MIDI 変換ケーブル×2、取扱説明書

保証書および保証規定

保証規定

本保証書による電子部品の保証期間は、製品ご購入の日から1年間です。

保証期間内に取扱説明書の注意事項にしたがった正常な使用状態で本製品が故障した場合には、無償での修理（または交換）をいたします。

なお、保証期間内であっても次に該当する場合は有償修理となります。

- ①お客様の不適当な取扱いによる故障の場合
- ②故障の原因が当社の責に帰さないとき
- ③本製品の本来の使い方以外で使用的場合
- ④火災・天災・第三者による行為などによる故障・損傷
- ⑤誤った接続、操作による故障及び損傷
- ⑦ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障・損傷

故障、修理等のご相談ならびに各種サポートにつきましては、本保証書並びに購入日、購入店名がわかるレシート等をご用意の上、弊社サポートサイトよりご連絡下さい。

製品名	Piano Engine PE128
お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より 1 年間
お客様情報	住所 氏名 TEL _____ e-mail _____
購入店	

ユーザー登録とサポートについて

本製品のサポートにつきましては、下記サポートサイトにてユーザー登録の上、お問い合わせ下さい。

サポートサイト

http://www.fineassist.jp/support/contact_support/

MIDIPLUS 日本輸入総代理店

〒461-0004 名古屋市中区葵 2-3-13 みねビル 3F

株式会社ファインアシスト

www.fineassist.jp

QR コード→



Piano Engine PE128 ver2.0